

住まいと生活の情報誌

せきれい

名鉄不動産

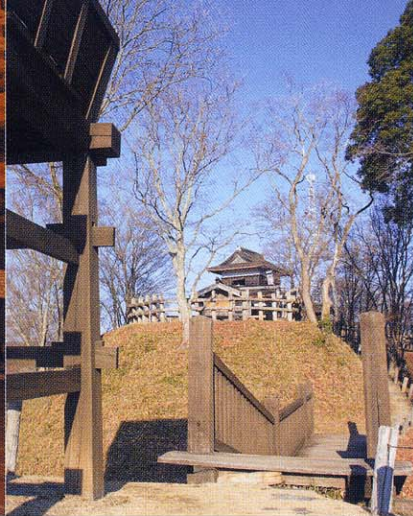
2007

新年号

Vol-46

特集 **城下町の今昔**
足助城下

宗恩寺より足助城を望む



④ カマド小屋と囲炉裏の切られた厨が復元されている。

③ 南物見台から本丸を望む。戦国の城らしく防衛櫓も見物。

② 戦国時代の岩の様を伝える「はねあげ戸」。

① 本丸跡には、二階建ての高櫓と長屋が復元。

特集 城下町の今昔

三河武者たちの砦

足助城下

砦としての機能を最優先した前線の城、
徳川、今川、武田の武者たちが生きた、戦乱の跡。

紅葉が飾る、戦国の跡。

平成17年4月1日の合併により豊田市となった足助は、愛知県東加茂郡に属していた町です。足助は足助街道、美濃街道、鳳来寺街道、伊那街道が通る交通の要衝であり、戦国の時代には、この地をめぐって徳川・今川・武田の争奪戦が繰り広げられました。また塩の道として宿場が設置され、奥三河の中枢拠点のひとつとして歴史に名を刻んでいます。足助町の町中からほど近い香嵐渓は、東海地区を代表する紅葉の名所としても知られ、足助川と巴川が合流する巴橋から約1km上流の香嵐橋付近では、毎年11月中旬～下旬頃、約400本のモミジが紅葉し、みごとな錦絵を描きます。

平成2年から3年がかりの発掘調査に基づいて復元・整備され、平成5年から城址公園として一般公開されています。真弓山は、足助の町並みを眼下に見下ろす要害の地であり、鎌倉時代には足助氏が居城していたといわれる「足助七屋敷(足助七城)」の一つとして伝えられてきました。しかし先の発掘調査では当時の遺物は発見されず、現在残された遺構は15世紀以降に鈴木氏が築城した跡と考えられています。

武田対徳川の最前線の地。

鈴木氏は戦国時代に西三河山間部に勢力を持っていた一族で、足助の地に、忠親→重政→重直→信重→康重と5代続きました。史料によれば、元龜2年(1571)鈴木氏は、武田信玄の支配下に入り、武田方の城代が城番し

※足助七城 飯盛山城(標高354mの飯盛山に築かれた城)を囲んで大小の峠が連なり、真弓山城(足助城)・白木ヶ峯城・大観音城・城山城・成瀬城・黍生城の支城が築かれ足助七城と呼ばれていた。



⑤ 本丸跡の高櫓(江戸時代の天守)より足助の町並みを眼下に、また、信州と美濃への街道、岡崎・名古屋への街道を望む。

ていました。天正3年(1575)武田勝頼が長篠の戦いで大敗すると、松平元康(後の徳川家康)に攻められ、その軍門に降下しました。その後、天正18年(1590)豊臣秀吉の小田原征伐の後、徳川家康が関東に移ると、鈴木氏五代康重も家康に従って足助城を去りますが、間もなく家康から離れ、浪人したといえます。江戸時代になると徳川幕府直轄の天領地となり、明治維新を迎えます。足助には、48もの城砦があったとも伝えられています。

忠実に復元された砦の姿。

入城口から、南の丸跡に復元された2棟の厨くしやとそれを取り囲む柵、さらにはその上の南物見台が目につきます。城址公園は本丸跡、西の丸跡、南の丸跡などから構成されていますが、それぞれに腰曲輪跡こしきりかがあり、本丸跡の北側には北腰曲輪跡も残っています。登城道は山の外郭を囲うように造られた堀切(区切る役割をもった堀)から、本丸や物見台に向って順に散策でき、要所要所に説明文もあります。まず、南の丸腰曲輪跡、次いで井戸跡、さらに進むと西の丸腰曲輪跡、その上の西の丸跡に登ると敵の侵入を防ぐための柵列と西物見台が復元されています。こうした戦国期の山城の復元は全国的にみても例がなく、質素そのものの高櫓と長屋に、機能優先の物見矢倉・物見台、防備のためだけの柵など、現在残るお城のイメージとは全く異なる砦そのもの。お城の原点を考察することができます。



⑥ 西物見台矢倉は、大きな岩壁の上に、穴を掘って建てられた、文字通り矢の倉庫。この場所から名古屋・岡崎への街道を望むことができる。また、南方に鶏足城を望み、鶏足城への連絡を兼ねたことが予想される。

宿場町の面影残る 足助の古い町並み

足助を走る国道153号線は、江戸時代には伊那街道、三州街道、明治以降には飯田街道と呼ばれ、中山道の脇街道として、三河湾で採れた塩を信州や美濃地方へ運び、帰りには山の産物を持ち帰って、尾張や三河方面に送り出していました。中馬(牛馬による運送)が行き来したことから、「中馬街道」とも「塩の道」とも呼ばれ、江戸天保年間には塩問屋などの商家が軒を連ねました。旧足助町域は、北から親王町、田町、本町、新町、西町、宮町、松栄町と続き、その中でも宿場町の色あいの濃い町並みを散策しました。

宮町 八幡宮に守られた 香嵐溪に向かう道。

宮町は、「香嵐溪」(P7参照)の玄関口にあたります。現在は、香嵐溪観光の入り口として、幟や標識が掲示され、やや観光地らしい雰囲気になっていますが、飯盛山の麓にある「足助八幡宮」は、今から約1300年ほど前の白鳳3年の創建と伝えられ、1466年(室町時代)建造の本殿は国の重要文化財に指定されています。4台の豪壮な山車と火縄銃で知られる「足助まつり」はこの神宮、



宇のごとく足を助ける神を奉る足助八幡宮。

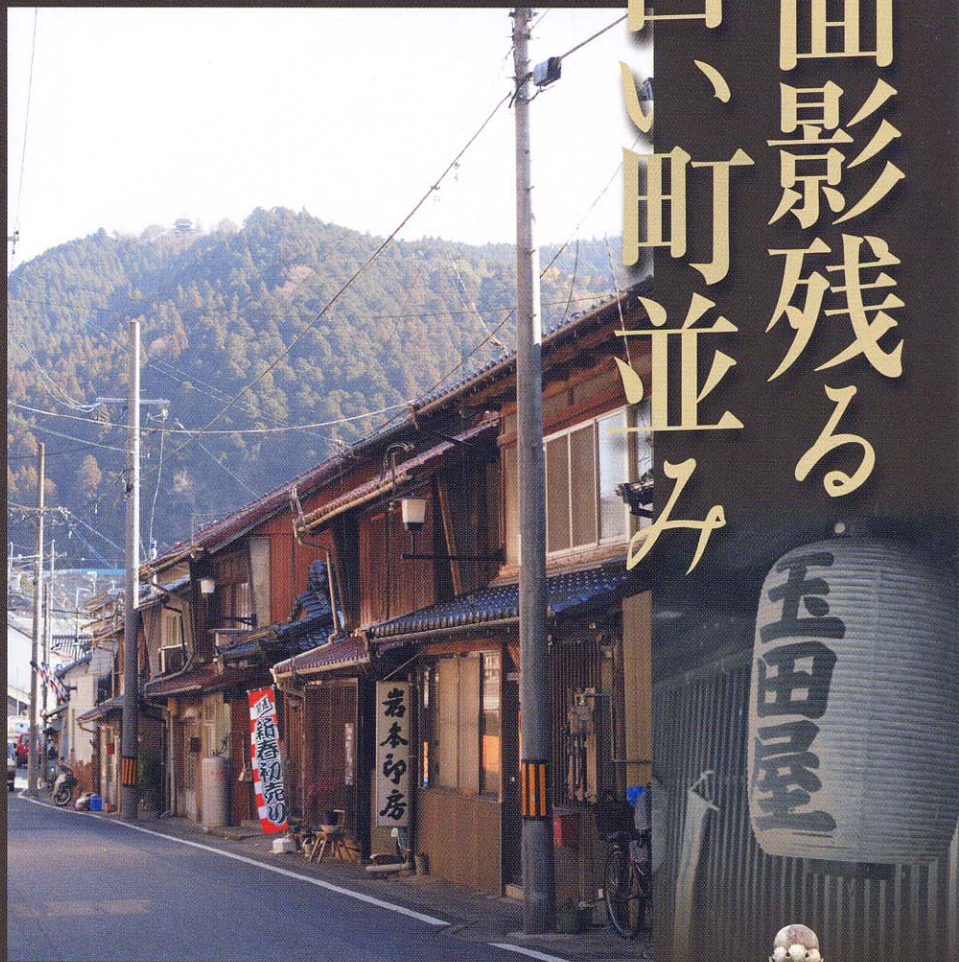
定されています。4台の豪壮な山車と火縄銃で知られる「足助まつり」はこの神宮、



足助川と巴川が合流する。この2本の川に足助の町は育まれてきた。(宮町を望む)



宿場町の西の玄関口。玉田屋旅館と中馬街道の町並み。(西町)



山の頂に足助城を望む旧道筋。

の秋の例大祭です。「香嵐溪」の交差点の脇には、足助の入り口を示す常夜灯も建てられています。



古く足助町を照らした常夜灯。

西町 宿屋が軒を連ねた 西の玄関口。

宿場町の西の玄関口にあたり、明治から大正にかけては7軒の宿屋のほか、芝居小屋や遊興施設がありました。現在昔と同じように営業を続けているのは、わずかに1軒「玉田屋旅館」(P7参照)ですが、かつての旅籠の面影を色濃く伝えています。旧街道の辻には、弘化2年(185)に建てられた道しるべがあり、右ほうらしい道左せんこうじ道と彫られています。江戸末期より続く鍛冶屋の老舗「広瀬重光刃物店」(P7参照)も、この西町に顔を並べます。一方、足助川の左岸側には、「足助交流館」、「農業者トレーニングセンター」などが建ち並び、再開発地域になっています。



旧街道の往来を彷彿とさせる道しるべ。

の西町に顔を並べます。一方、足助川の左岸側には、「足助交流館」、「農業者トレーニングセンター」などが建ち並び、再開発地域になっています。



広瀬重光刃物店の外観。

新町

細い小路に残る、
蔵の風情。

新町あたりから家並みに「妻入り型」や「平入り型」が見られるようになります。また安永4年(1775)の大火以降には、軒先の裏側まで



左に妻入り(マンリン書店)、右に平入り家屋が並ぶ。

漆喰で塗り固めてある塗籠造りの家屋が多くなつたといわれています。町から山腹にある

「宗恩寺」へ登る小路は、「マンリン小路」と呼ばれ、白壁蔵造りに黒い腰板を高く打った古民家が階段状に続く古民家が美しく、足助の代表的な町並みとして紹介されています。蔵が連

本町

かつては大きな商家が
建ち並んだ古き町。

西町とともに最初に形成された街区です。江戸時代には大商人が集まっており、軒先が下がった平入りの家屋が多く、裏には蔵が連棟し隆盛ぶりが町並みにも見られたそうです。紙屋を営んでいた商家は、現在は空き家ながら、「間口40m、奥行100m、屋敷内には7つの土蔵がある。」と紹介され、豪商ぶりを伝えています。「足助郵便局」についても、平成元年の建て替えの際に町並みに合わせて化粧直しが施されました。近くの脇の小道を下りていくと足助川に出ることができ、足助川に沿ってやや下がると「六地藏公園」へ



「六地藏」の向こうには紙屋を営んでいた豪商の家屋(本町)。



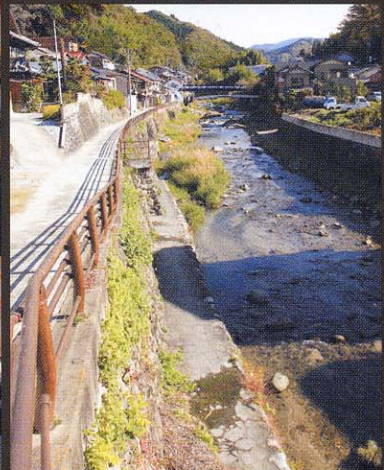
本町に残る旧造酒屋の建物を再利用した家並み。



新町の、そして足助の町並みとして紹介されることも多い、マンリン小路。



宿場町の東の入り口。町並みに堂々たる風格を見せる山城屋旅館。



足助川に沿った旧街道。(田町・真弓橋より見る)

田町

裏道のような趣きの、
旧道を歩く。

があり、竹やぶの中から掘り出された6体の
のお地藏様が安置され、毎年8月14日には
500本余りものろうそくが灯る「万灯まつり」が
開かれます。「加茂一揆の刀傷が残る加東家」と
案内される一帯には、江戸時代には造酒屋があり、
現在は数軒の商店として使用されています。



加東家の外観。

昭和54年に今の形に建てかえられた「豊田信用金庫足助支店」は、昔の両替商を思わせる建物。その先にある「足助中馬館」は、大正元年に建てられた「稲橋銀行足助支店」の社屋を改装したもので、県の文化財指定。取り壊されて駐車場になる運命にあったのを、町並みの大事な顔であることから、「足助の町並みを守る会」の有志が利子補給をして取り壊しを延ばしてもらい、その後、町が取得し、資料館として残したものです。



豪商が建ち並んだ旧足助の文化を伝える足助中馬館。

約千坪の原風景

三州足助屋敷

子や孫に父祖の暮らしや風習を伝えたい、そんな想いから設立された三州足助屋敷。建物民具を實際に使いながら山あいの農家の暮らし（明治〜昭和30年頃までを想定）を再現した、生きた民俗資料館です。昔ながらの手仕事や年中行事の実演や体験を通して、現代生活にはない懐かしさに触れることができます。

竹細工

モノづくりの楽しさを伝える。

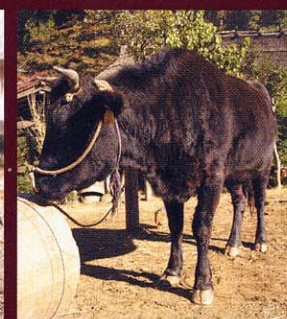
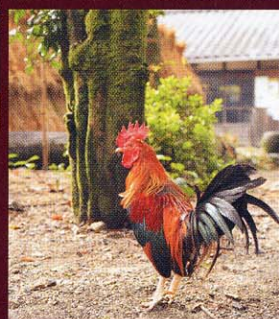
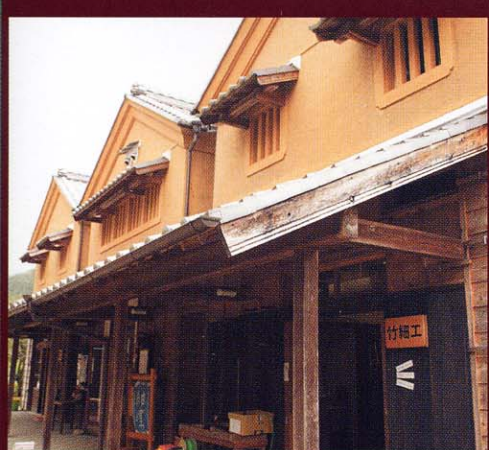


大山 清市さん 74歳

定年を迎え、趣味だった竹細工を生かしたいと工作教室の出張ボランティアを開始。3年前からこの足助屋敷に拠点を構え、懐かしい玩具やからくり作品など幅広い創作活動に取り組みられています。「竹を生かすのも、からくりを作るのも面白い。人を驚かせるのが大好きなんです。」大山さんの作品からは、アイデアやモノづくりの楽しさまでも伝わってくるようです。また、大山さんは、足助町の和紙と竹を使った情緒ある行灯「たんころりん」の発案者。町を行灯の明かりで包むこの行事は、足助の夏の風物詩としても知られています。



ユーモラスなおサルのかごや2,500円、ウサギの餅つき3,000円。



- 三州足助屋敷 豊田市足助町飯盛36番地
- TEL/0565-62-1188
- 営業時間/9時~17時(入場は16時30分まで)
- 定休日/毎週木曜日(祝日の場合は翌金曜日)、6月第3水曜日(年末年始(12月25日~1月2日))
- 入場料/大人 500円 小人(小中高生) 200円

※休館日が予告なく変更になる場合があります。
※3月下旬から4月上旬のカタクリの花の見頃の木曜日と、お盆の期間は臨時開館、GWと11月は無休。

桶屋

手で作る、水を運ぶ道具。



桶 利行さん 34歳

「日本の昔からの道具はどれもシンプルなんです。だから難しいんです。ですが、いいものに使えば一生使えます。安城に住んでいます。90歳のおばあちゃんが嫁入り道具で使っていたという桶の修理(下写真)を頼まりました。娘さんが母親の思い出の品だからと、わざわざ持ってきてくれたんです。」と桶さん。一枚一枚でいいねいにカンナをかけ、銅のタガを編んで止める。大量生産では造れない手仕事の温もりがカタチになっているようです。

傘屋

自然のものだけで雨を凌ぐ。



岡田 サヨ子さん 66歳

話術も楽しい岡田さんは13年の番傘づくりの達人。奈良の東大寺をはじめ、伝統の祭り用や曲芸用、梵天傘など、いろいろな方面から注文が入ります。和紙、竹など、地元由来する自然素材を多く使っています。ただ、昔の家屋での仕事、冬はさぞお寒いのでほと尋ねると「家にあるいちばん古いものをいっぱい着込んで仕事をします。またそれが似合う場所なんですよ。」(笑)



和の風情あふれる、番傘7,000円。



使うほどに味が出る、片手桶3,000円。

修理の終わった桶。

城下町で 技を継承する人

足助の竹と 技と生

矢師・竿師 鈴木武夫さん



元禄時代から武士のたしなみとされてきた弓道。羽の柄や装飾は、「家」を表す模様でもあった。

足助は竹の産地で、良質な竹が豊富にとれます。この竹を生かして、日本の伝統武道、弓道の矢の製作に当たる「いろは竹工所」の鈴木武夫さんをお訪ねしました。

きる。

創業者、祖父の意匠をついで。

矢を作る職人を「矢師」、釣り竿を作る職人を「竿師」と呼びますが、どちらも兼任して作っているのは全国でも珍しいと思います。実は、弓道家だった祖父が自分の道具を見よう見まねで作りはじめたのが、発端なんです。弓道のことについて少し解説を加えますと、弓道は、剣道とともに日本の武士の必須科目でした。しかもこの地方は徳川家康のお膝元です。戦に農民を連れて行くことも多く、農民でも武芸を身につけられる土壌があったんです。農民が弓を持って歩くことも許されました。同時に、戦に臨場したときの精度や士気も要求されたため、縁日などでは、矢場を

作って盛り上げたんですね。お金をかける掛弓も行なわれました。大正生まれの祖父は、そんな気風の中で育ちました。手先が器用で何でも自分で作って楽しむ道楽も身に付いていた人だったので、自分が楽しむために矢を作り、技術も磨いていったのだと思います。

足助の自然が良質の竹を生む。

ところが、戦争が終わって敗戦国になると、進駐軍の指示により弓矢は御法度として廃棄処分になりました。名刀が残っているのに、弓矢が残っていないのもそれが理由です。柔道剣道が許可されても、弓道は許されませんでした。祖父が、釣り竿を作り始めるようになったのはこの頃です。祖父が考案した釣り竿は、携帯できるように一本の長い竿を3〜4本に分けつなく組立式でした。自転車での移動に配慮して軽量化も施されています。材料になる竹（三河竹または足助竹は、山へ採りに行くんですが、足助は寒暖の差が大きく、京都と似たような気候で、採れる竹も良質。粘りが強く腐らず長持ちするため、市場価格で2〜5割も高いんです。

精度を生み出す経験と技術。

矢にしる竿にしる、仕事は山で竹を選ぶことから始まります。竹を採る、色を巻く、漆を塗るなど、工程は非常に細かく日数もかかりますが、全部自分ひとりで行います。竹を火であぶって焦がし（炭化させるカーボ等がこの例）、さらに田んぼの中に1年浸けてつくりまます。着色の効果に加えて土の



作業所の下を鮎が泳ぐ足助川が流れる。



祖父の技術を受け継いで、三河竿（足助竿）を完成させた鈴木さん。7本を継ぐ7.6mの釣り竿には、見事な装飾も。



竹を火であぶり、内部の水分を飛ばしていく。竹は少しずつ矯正されながら軽くなっていく。作業所の道具も鈴木さんの手作り。



矯正前

採集から乾燥に1〜2、3年寝かす。竹を相手にするからには短気ではいられない。

矯正後



まっすぐに矯正されて次の工程を待つ竹。竹が次第に「矢」に変貌していく。

お城下町の



カタクリの花(飯盛山)

紅葉の景勝地として知られる香嵐溪ですが、飯盛山の、国道153号にかかる巴橋から上流約12kmの巴川がつくる渓谷の冬は、訪れる人もまばらな静寂の季節。雪を伴えば、訪れる人を無我の境地に誘う幽玄の風景が広がります。また、3月下旬から4月上旬は山野草の季節。特に500に及ぶカタクリの群落は、薄紫色の絨毯を敷いたように見事です。秋の錦絵とは趣を変える、淡い水彩画のような早春にも一度は訪れてみたいものです。

香嵐溪

足助の四季を彩る。



写真提供/足助観光協会

玉田屋旅館

西町に唯一残る宿屋で食す。



息子さんと季節の料理を考えるという女将、和子さん。

代目。現在は奥様の和子さんと息子さん夫婦とともに、旅館を切り盛りされています。予約があれば昼・夜ともに食事だけでも利用することができ、地元旬の素材を生かした料理を味わうことができます。取材時のお料理は、鮎の甘露煮に、煮含めた大根をたっぷり添えたソバ、小エビと三ツ葉のかき揚げに、ズイキ(里芋)

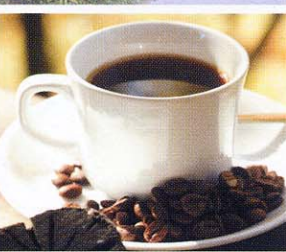


川魚料理と手打ち蕎麦の定食1700円。



幕末建造の宿屋は、6室で収容人員は17名。(外観写真はP3に)

香嵐溪へ徒歩3分、本街道(中馬街道)に残る古い旅籠風の旅館です。ご当主、丸根信吉さん(74歳)は、六



香嵐溪のせせらぎも店内に誘い込む。香ばしい炭焼きコーヒーは1杯350円。

堅香子 三州足助屋敷内(P5参照)

4種の豆をブレンド。園内で焼いた炭を使って自家焙煎する炭焼きコーヒーです。「香嵐溪の最盛期には、1日1000杯を出します」と話す榎本フサ子さん。



豆のブレンドや焙煎も榎本さんの手で。

炭焼き珈琲 堅香子

の茗など、郷土色豊かなおかずが並びます。地の食材を生かして旬をたっぷりいただく、現代社会に足りなくなつた食の文化までも堪能することができま

足助屋敷で作つた炭で自家焙煎。

- 玉田屋旅館 足助町西町36
- TEL/0565-62-0170
- 宿泊/1泊2食付で8,500円(年中同じ)

広瀬重光刃物店

暮らしを支える刃物鍛冶、百九十年。



広瀬重光さんには、職人の他にライブハウスオーナーとミュージシャンの一面も。

江戸末期から足助の地で鍛冶屋を営み続ける刃物店。店の奥に仕事場があり、鍛冶・研ぎ・柄付けのすべてをまかなわれています。全国に愛用者があり、有名人が来店されることも。一般家庭で使われる包丁をはじめ、各分野の職人が扱う鋼製の道具が豊富に置かれ、刃物ギャラリーのような印象を受けます。「製造直売だから、オーダーでこういうものを作ってほしいと相談を受けたり、研ぎ直しの依頼もあります。アイデアを生かした創作的な刃物もあります。道具としての面白さは尽きることがありません。」と広瀬重光を襲名された六代目明史さん。



樹木など植物用の皮剥ぎ 5,300円。



うなぎさし 5,800円。

- 広瀬重光刃物店 足助町西町10
- 営業時間/8時30分~20時
- TEL/0565-62-0116
- 定休日/火曜日

薬師寺の宮大工も御用達、やりがんな 9,000円~。

足助の旅籠と 心む旅情めぐり



両口屋

自然味豊かなお菓子で一服。



足助に嫁いで60年。この町が大好きという一代さん。

「中馬柿」は、干し柿の中に栗きんとんをつめた素朴な和菓子で、10年前に両口屋のご当主、佐久間章郎さんが発案して作られました。まったりと濃い柿の甘さを栗の淡い甘さが抑える不思議な味わいです。「建物は築200年の町



秋から冬にかけての店の名物、中馬柿1個230円。

家で、和菓子屋としては2代ですが、八代目まではまゆ問屋を営んでいました。足助は、歩くのにちょうどいい小さな町。2月から3月上



8代続いた、まゆ問屋の名残を忍ばせる、堂々とした外観。

休



旬は、家々が軒先に雛人形を飾る「中馬のおひなさん」もありますから、たくさんの人に来てほしいですね。」とご当主のお母様、佐久間一代さん。大正14年のお生まれながら、チャーミングな笑顔と軽快なおしゃべりで、今も現役の看板娘です。

- 両口屋 足助町本町16
- TEL / 05665-62-0056
- 営業時間 / 8時~20時
- 定休日 / 火曜日

マンリン書店 蔵の中ギャラリー



サロンとギャラリーの入り口は、マンリン小路の中腹に。

蔵に育まれた粋な文化空間。階段状の石畳に黒い板壁が続くマンリン小路、その名前の由来となっているのがこの書店です。間口6m、奥行き約40mの妻入り2階建ての3棟の蔵の内部は、芸術に携わっていたオーナー姉妹による、書店・サロン・ギャラリーの洗練の文化空間です。「昔は呉服店(萬林呉服店)を営んでいました。書店は、父が文書蔵を遺すために開いたもので、それを継続させるためにサロンとギャラリーを併設したんです。」



蔵の構造がよく分かる吹抜けのサロン。



勾配の頂上(いちばん奥)には、茶室。

とは妹の深見富紗子さん。建物の内部は、蔵造りの独特の重厚さに、姉妹によつて選ばれた本、魅せる花の演出、国内外から集められた展示物によって、和と異国情緒が雑居する創造的な空気を醸し出しています。

- マンリン書店 足助町新町2
- TEL / 05665-62-0010
- 営業時間 / 9時~21時
- 蔵の中のギャラリー
- 営業時間 / 10時~18時 入館500円(飲み物付)
- 定休日 / とも木曜日

山城屋旅館

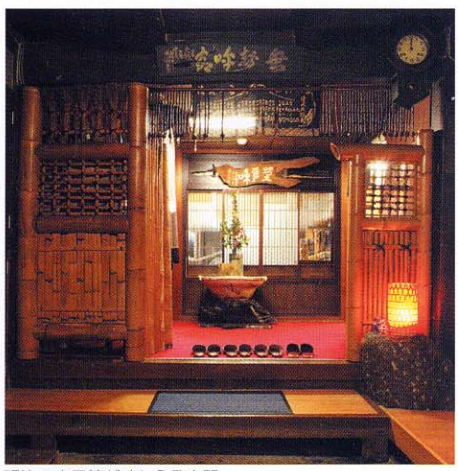
明治の馬宿で庶民の旅を想う。



料理にも定評があるご当主、安藤寿美治さん。

中馬街道を往来する人の休息を預かった宿です。「香嵐溪のすぐ下に広がる足助の町ですが、香嵐溪は知っていても足助の町を知る人は意外に少ないんです。山歩きや町探索など、年中通して楽しめる足助ですから、もっと多くの方に来てほしいですね。」とはご当主、安藤さん。

旅館の内部は、古いながらもていねいに手入れがされ、明治時代の庶民の宿風情が味わえる貴重な存在。隣には民芸食事処「蔵」を併設し、地元の味処として親しまれています。



明治の宿風情が味わえる玄関。現在使用しているのは7室のみ。(外観写真はP4に)

- 山城屋旅館 足助町石橋27
- TEL / 05665-62-0000
- 宿泊 / 1泊2食付で9,240円
- 11月のみ1泊2食付で10,500円

リビング・ダイニング・キッチン
L・D・Kフル・デザイン・チェンジ。
デザインにこだわったステンレスキッチンで

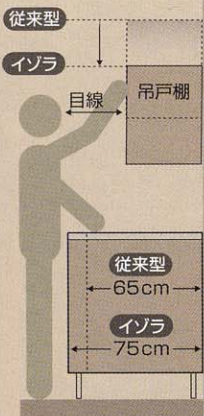
キッチンのデザイン次第で、
キッチンは住まいの主役に躍り出ます。

リビングをソファとテレビだけを置いたコンパクトな
スペースにすれば、スペースに限りのあるリフォームでも、
ダイニングは立派なゲストルームに変身。

「ISOLA」イメージ

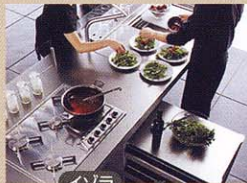
キッチンのリフォームをする場合、設備の入れ替えではなく、LDK全体のフル・デザイン・チェンジとして考えてみませんか？ 例えば、子どもが独立して夫婦ふたりだけのLDKなら広さよりキッチンを中心とした空間のまとまりや、夫婦ふたりで料理から食事、食後のひとときまでの一連の時間を楽しめるレイアウト、あるいは、友人を招待できるパーティースタイルのキッチンなど。

そこで、せきれい編集チームが目にしたのは、トーヨーキッチンの「ISOLA（イゾラ）」。3階建ての「3Dシンク」やゼロ動線など、「使うキッチン」としての機能もふんだんに盛り込まれた商品です。



横幅より奥行きで、場所を動かさず作業する。

同時進行で複数の料理を作るためには、効率が勝負。横に何歩も動かさず、その代わりに「手を伸ばす」ことで同じだけの作業をできるよう、ワークトップの奥行きは、75cm。アイランド型なら複数の人が両側に立って作業をすることができます。壁面にキッチンを設置するタイプは、吊戸棚の位置を低くできるため、シンクの上に水切りスペースを設置することもできます。(左下写真)



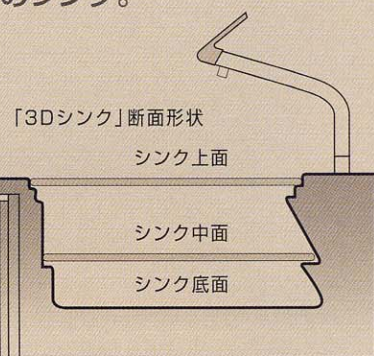
「モノ」の美しさに こだわり抜いた、キッチン。

シンクからコンロまでオールステンレスの一体成形で、表面をチタン仕上げとしたワークトップ(天板)。3Dシンクを生んだ成形技術も、学校の水回りや厨房などオーダーメイドの仕事をしてきた職人の手仕事があったからこそ。シンプルな美しさです。



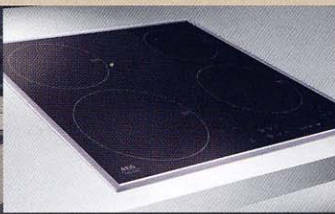
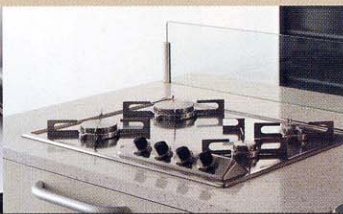
今までの不便を解消する3階建てのシンク。

まな板をタテ使いで大きな野菜を切る、シンクを広く使って野菜を洗ったりゆでこぼしをする、粉の飛び散りを考えずにパンをこねる。写真にはありませんが、水を流しながら魚を切るのもお手のもの。大きくて3枚の専用プレートの使い分けで調理の平行作業が驚くほどスムーズ。新しい料理に挑戦したくなる、そんな気持ちにさせる「3Dシンク」です。



家族の嗜好に合わせて、オリジナルのキッチンにする。

イタリア製レンジ(写真中央)や、魚1匹を丸ごと焼けるグリル、肉を焼くためのバーベキューコンロ(写真左)、ガスオープン、さらには今人気のIHクッキングヒーター(写真右)など多彩なレンジが揃い、オリジナルのキッチンをつくるのが可能です。魅せるキッチンから機能をフルに使う働くキッチンまで思い通りのキッチンが可能です。



すべてを引き出す、すべてを見渡せる収納。

奥行きによって、大容量の収納空間が生まれています。引き出して取り出せるので、腰をかがめて奥から器具を取り出すこともなく、出し入れがラクラク。引き出しは軽く押せば静かに閉じるセルフクロー징なので、音も静かです。

LDK(17帖)のリフォームを仮定した目安金額(税別)

- マンション
- 仮設・解体工事費 ……330,000円
 - 内装工事費 ……600,000円
 - キッチン工事費 ……1,340,000円
 - 設備工事費 ……180,000円
 - 諸費用 ……220,000円
- 合計 2,670,000円

- 戸建て
- 仮設・解体工事費 ……260,000円
 - 内装工事費 ……480,000円
 - キッチン工事費 ……1,290,000円
 - 設備工事費 ……180,000円
 - 諸費用 ……190,000円
- 合計 2,400,000円

※キッチン設備は基本タイプの金額です。
※地域によって施工できない場合がございます。予めご了承ください。
※金額等について、詳しくはお問い合わせください。

どう組む？ 住宅ローン!



ポイント3

あせり購入は禁物。
家は一生の宝物として
納得してから
購入しましょう。

ポイント1

金融機関の住宅ローンは
引き渡し時点の
金利が適用されます。

*今ではなく数カ月から1年先かもしれません。

心構え

住宅購入や新築を
考えているみなさん、
金利の上昇で焦る前にまず、
ローンを組む際の心構えを
しておきましょう。

ポイント4

ローンはむしろ返済が
始まってからが工夫の始まり。
繰上返済や
臨時返済で返す総額を
減らすよう努力しましょう。

ポイント2

人生は山アリ谷アリ。
ローン選択の善し悪しが
わかるのはローン返済の
ときです。

4

住宅ローン金利のしくみ

③ 固定期間選択型

例えば10年固定

返済額
金利

(年) 10 20 30 35 返済期間

3年、5年、10年など一定期間だけ金利を固定するタイプ。固定期間終了時にはその時点の金利が適用される。

② 変動型

返済額
金利

(年) 10 20 30 35 返済期間

定期的に金利を見直すタイプ。銀行では原則年2回金利を見直し、返済額は5年に一度見直しされる。

① 固定型

例えば35年固定

返済額
金利

(年) 10 20 30 35 返済期間

返済期間の始めから終わりまで金利が固定されているタイプ。途中で金利が上がる段階金利制もある。

5

住宅ローンの金利は、
公庫は①固定型。
銀行などの民間ローンは、
②変動型と
③固定期間選択型が基本です。
低金利時代には、
変動型・固定期間選択型が有利ですが、
高金利になると返済負担が
重くなるリスクがあります。

**金利の
ひび**

8

それなら計画的だし、
子どもあつこく入らう
どうかしら♡

ソニートク発想じゃなく、
リスクの分散か!!

7

例えば、今人気のある
35年固定①と
10年固定③の
2本立てにする方法も
あります。

どちらが得かは
35年後にしか
分からないもの。
それなら1本に絞らず
組み合わせるなど、
リスクを分散して
できるだけ
ソンをしない配慮を
する方が賢明でしょう。

6

えっ？

今、リスクと
言いましたが、
リスクを軽減するといふ
考え方をすれば、
複数のローンを
組み合わせるとい
う発想も生まれます。

考え方

※詳しくは住宅金融公庫ならびに、民間金融機関の窓口へお尋ねください。



浴槽の高さ、手摺り、滑りにくい床など、ユニバーサルデザインが図られている浴室の例。(名鉄ホーム「わが家」より)

ユニバーサルデザインという言葉聞いたことがありますか？ ユニバーサルは普遍的な、全体の、という意味で、「すべての人のためのデザイン」を意味しています。年齢や障害の有無などにかかわらず、最初からできるだけ多くの人が利用しやすいデザイン（設計）するという考え方。最近では住まいづくりにも多く取り入れられているこの「デザイン」を、名鉄ホーム「わが家」と「エクセル」を例に見てみます。

**バリアフリーを
一歩前進させたデザイン。**
バリアフリーという言葉をよく耳にしますが、これは、使う人にとっての障害（バリア）を取り除くという考えです。障害と認めて改めることが前提にあります。それに対して、ユニバーサルデザインは、すべての人を対象としているため、最初からすべての人が使えることを目標にしています。作り手の受

住まい向上アラカルト

住まいの
快適を考える

住まいの ユニバーサル デザイン

住まいの細部（備品等）に採り入れたいユニバーサルデザインの活用例（名鉄ホーム「エクセル」より）



不使用時は床に収納されるドアストッパー。ドアの急な開閉を防ぎ、掃除の際などにドアを開けた状態で固定できるマグネット式のドアストッパー。使わないときは床にすっきり収まり、踏んでも不快感がありません。



握りやすい太さと高さの階段手すり。握りやすさに加えて配慮したいのが、触ったとき冷たく感じない材質であること。いろいろな人が素手で触るものなので、ナチュラル感があることも重要な要素です。



力を入れずに開閉できる手動式シャッター。閉めるときも開けるときも、握りやすい丸形状のグリップがついた「操作ひも」を引っ張ります。スラット（雨戸の下端）を持ち上げる必要も、腰をかかめて閉める必要もありません。



スムーズに開閉できるキッチンキャビネット。引き出し式のキャビネットなら、開閉がラクで、奥のモノを探すときも、しゃがむ必要がないため、体への負担が少なく済みます。また全開すれば収納の中身が一目瞭然です。

け取り方によって差が生まれるため、住まいの場合は基本的な目安として、
①誰もが平易に使用できること。
②分かりやすいデザインであること。
③使い方が簡単に分かること。
④うっかりや危険につながらないこと。
⑤無理な姿勢や強い力を必要としないこと。
⑥寸法・空間に配慮があること。
などが考えられます。

**複合的な方法で、
誰にでも安全&使いやすく。**

例えば、最近の浴槽は、立ち上がりを40cmくらいと低くし、お年寄りだけでなく、子どもにも入りやすいように配慮されています。ただ、子どもが小さい場合は、浴槽に転落する事故を防ぐため、浴室ドアに外からかけられるカギをつけるなど、一つの要素でかなえようとするのではなく、複合的に解決手段を考えたいものです。他にも、建築時から取り入れておきたいことはいろいろあります。玄関までのアプローチをスロープにする。二階に寝室を配置する場合、階段の勾配を緩くしたり、手すりをつけておく。トイレや洗面室の出入り口を引き戸しておくなど、将来への配慮は欠かせません。また、水回り動線への配慮、部屋と廊下の寒暖の差を少なくする、お風呂の床や手すりを冷やっとなしものにするなど、不便や不快感を取り除く感覚的な配慮も、ユニバーサルデザインの重要な要素です。

冬の暖。



灯りのある庭。

ガーテニングブームとともに庭やバルコニーを「癒しの空間」として演出する人が増えてきました。

そこで一工夫したいのが、夕方から夜の庭の顔。

仕事から帰宅した家の主の心をほっと和ませてくれる灯りの演出です。

寒々としがちな冬の庭に暖かみを添えてくれるライトアップを考えてみます。

光陰を愉しんだ、

日本の灯りを紐解いて。

庭にガーデンライトを仕込んでドラマチックにライトアップするのは、欧米からの輸入ですが、古くは日本にも、灯りによる庭の陰影を楽しむ文化がありました。

家々に電気が敷かれる前、日本の灯りといえば、灯籠(とうろう)と行灯。灯籠は、神仏を供養するための燈明(とうみょう)を安置するための器具として生まれましたが、その後は、交通上の照明として活用され、庭の夜間照明として広まりました。夜も庭の風情を楽しむ文化が日本に宿ったのも、灯籠のおかげかもしれません。

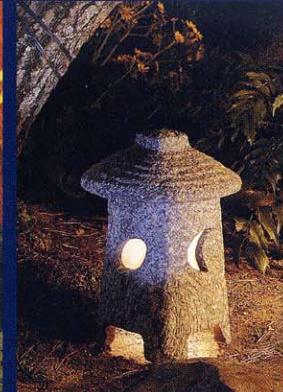
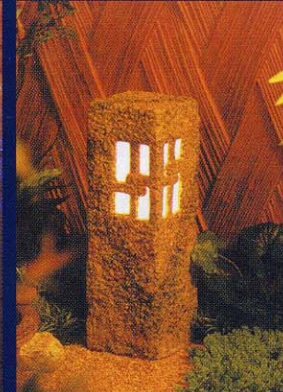
一方行灯は、木や竹、金属製などの枠に紙を貼り、中に油皿を入れて火をともし照明器具。手にさげて持ち歩いていたので「行灯」と呼ばれるようになりました。灯りを加えることで、庭には、昼と夜の二つの顔が生まれます。最近では、現代の庭に似合うモダンな姿の灯籠や行灯をアレンジした照明など様々なデザインが出ています。家の照明を落とし、庭の灯りだけで、昔の人が味わった庭の情趣を楽しんでみるのも一興です。

省エネ、防犯を兼ねて

癒しの庭を演出。

最近の傾向は、癒しに省エネ理由が重なり、庭全体を明るく照らす全体照明から、間接照明やスポットライトを使ったドラマチックな光の演出に変わっています。癒しを与え、防犯効果の役目も果たすやさしい灯りへと役割が変わってきているのです。灯りに照らされた木々や草花は、見るたび目を和ませ、庭づくりの楽しみを増やしてくれます。広さに余裕のある場合には、敷石に沿ってライトを設けたり、つくばいを置いて灯りを水に映して光の余韻を演出したりと、楽しみは広がります。土地に制約の多い都市部では、家の内部に採光や通風を兼ねた小さな庭を設けて小さな灯りを加えてみてはいかががでしょうか。

また、最近では分譲マンションでもエントランスホールの奥に居住者の目を和ませる箱庭的なグリーンスペースを設ける物件が出ています。マンション内部のため住民以外は見るチャンスが乏しいのが残念です。物件のコンセプトやインテリアに最適な空間を、建築家や庭づくりのプロがデザインしているため、庭木のトレンドや四季折々の花木、様々な方向からの見栄えや夜間のライトアップ時の見せ方など、緻密に計算されています。





写真/メイツ江南赤童子1階の共用スペース

**ご家庭で
お手軽ライトアップ**

庭に灯りを加えることで、
昼間とは違った表情を楽し
むことができます。ただ気を
付けないのが、ライトは庭を
引き立たせる脇役であること。
あまり多く設置せず、アクセントを効かせ
ることがポイントです。

最近では洋風以外に石燈籠や行灯に似せ
た和風のものなどデザインも豊富で、家庭
用のコンセントから電源を取れる商品も充
実しています。電気代を抑える場合は、消費
電力の少ないLED低電圧タイプ、また発
熱の少ないLEDライトなどもあります。
上の写真は、当社で施工したマンション
のパブリックガーデンの例です。熱で葉を
痛めない照明、庭の全体の陰影などを考
慮して設計しています。

造園用語

【石燈籠】
照明器具の一種で、灯火を入れる火袋のある石
で作った灯火具。台燈籠をいい、屋外に立てら
れたものをいいます(燈籠・灯籠など書き方は
様々)

【行灯】
木枠に紙を張り、中にロウソクをおいて火をと
もしたり、懐電球をともし昔風の照明器具。

【LED】
Light Emitting Diode
(ライトエミティングダイオード)の略で、
発光ダイオードのこと。電球や蛍光灯に比
べて熱を発生させず、非常に消費電力が少
ないうえ長寿命という性質がある。

●取材協力

名鉄環境造園株式会社
名古屋瑞穂区新開町29-303
TEL 052-822-2841(代)

白神さんの
庭造りワンポイント
アドバイス



一級造園施工監理技師
白神 健

「庭」についてのご質問
ご相談もお気軽にどうぞ。
TEL 052-822-2842
(土・日・祝を除く8:30~17:30)

meitsu 名鉄不動産
メイツ 半田成岩

「アクティブ」な
ロケーションに
暮らす。

LIVE IN ACTIVE LOCATION

人に街に、スマイル・クリエイティブ。名鉄不動産
※現地6階相当からの眺望(平成18年10月3日撮影)

徒歩で、ドライブで、交通機関で通勤・通学やショッピング・レジャー・アミューズメントエリアへ。おでかけスポットが満載なアクティブ・ロケーション。毎日を快適に、万一の時にも安心していただける高い性能で、揺るぎない満足の住まいを目指した名鉄不動産の「メイツ半田成岩」にこのたび、6タイプのライフスタイルを提案するモデルルームが現地建物内にオープンいたします。是非、目で見、肌で感じてください。



防犯 防音 平面駐車場 1,000円より



■分譲価格 3LDK [74.35㎡] 1,930万円(税込)より 4LDK [87.04㎡] 2,370万円(税込)より 先着順受付中

新タイプ・新モデルルームオープン 実際のお部屋を6タイプご覧いただけます。

■メイツ半田成岩(第2期)物件概要 ●所在地/愛知県半田市栄町四丁目15番1 ●交通/名鉄河和線「成岩」駅徒歩5分 ●地目/宅地 ●用途地域/第1種住居専用地域 ●構造・規模/鉄筋コンクリート造地上11階 ●建ぺい率/60% ●容積率/200% ●敷地面積/3,396.40㎡ ●延床面積/7,199.41㎡(自転車置場、駐車場含む) ●建築面積/1,654.68㎡(付属棟含む) ●建築確認番号/第ERI05043572号(平成17年12月14日)、第ERI06008902号(平成18年5月2日) ●総戸数/65戸 ●販売戸数(第2期)/18戸 ●住居専有面積(トランクルーム面積含む)/74.35㎡(3戸)~101.66㎡(1戸) ●間取り/3LDK(11戸)・4LDK(7戸) ●バルコニー面積/13.75㎡(2戸)~25.40㎡(1戸) ●アルコブ面積/2.73㎡(3戸)~9.71㎡(1戸) ●テラス面積/18.40㎡(1戸) ●専用庭面積/12.42㎡(1戸) ●サービスバルコニー面積/2.89㎡(1戸) ●販売価格(税込)/1,930万円(1戸)~3,260万円(1戸) ●最寄価格帯(税込)/2,400万円台(5戸) ●管理費(月額)/8,300円~11,300円 ●修繕積立金(月額)/4,500円~6,100円 ●修繕積立一時金(入居時一括)/223,000円~305,000円 ●CATV使用料(月額)/1,260円 ●専用庭使用料(月額)/200円 ●駐車場台数/86台(住戸用85台、来客用1台) ●駐車場使用料(月額)/1,000円~10,000円 ●バイク置場/7台 ●バイク置場使用料(月額)/500円 ●駐輪場台数/130台 ●建物竣工予定/平成19年3月上旬 ●入居予定/平成19年3月下旬 ●管理会社/名鉄不動産株式会社 ●管理形態/区分所有者全員により管理組合を結成し、管理会社に委託 ●分譲後の権利形態/敷地及び建物共有部分は区分所有者全員の住居専有面積持分割合による共有、建物専有部分は区分所有権 ●売主/名鉄不動産株式会社 ●設計・監理/柴山コンサルタント株式会社 ●施工/鉄建建設株式会社名古屋支店 ●広告制作年月日/平成18年12月1日 ●広告有効期限/平成19年1月末日 ●※改良のため図面および設備・仕様等は一部変更する場合があります。

■提携ローンのご案内:取扱金融機関/知多信用金庫 ●金利/0.90%(2年固定特約・優遇金利適用後の場合) ●※融資条件及び金利は平成18年12月1日現在のものです。 ●※金利については融資実行時の金利が適用されます。詳しくは担当までお問い合わせください。

■住宅金融公庫(優良分譲)のご案内 ●融資対象戸数/18戸 ●申込資格/ご自分で住むための住宅を購入される方。あるいは親又は子の方が住むための住宅を購入される方。日本国籍の方又は外国人(昭和26年法令第319号により永住許可を受けている方・平成5年法律第71号による特別永住者)の方である等公庫の定める申込資格のある方。その他、借入れ申込資格及び融資条件等詳しくはパンフレット、または公庫の各種融資案内等をご覧ください。 ●融資内容:①融資限度額/1,520万円(1戸)~2,520万円(1戸)(生活空間加算額及び特別加算額含む)前記融資額は、購入価格の8割が限度となります(災害にあった方は除く) ②金利:基本融資額は年3.77%。住まいひろがり特別融資(親族居住型)は年4.02%。 ●※金利は変わることがあります。 ③返済期間:35年以内。ただし、80歳(申込人等の申込時の年齢<1歳未満切上げ>)が限度です。(10年以上1年単位) ④融資手数料:48,510円(消費税含む) ●取扱金融機関/知多信用金庫

www.meitetsufudosan.co.jp 名鉄不動産 0120-717-553 営業時間/午前10:00~午後6:00(水曜定休)